

令和4年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告

長引くコロナ禍により、南アルプス市社会福祉協議会（以下社協という）でも事業の中止や縮小をしながら、感染防止を第一に考えてきました。また、訪問先や協議体等で出会う市民の方々から、孤独感や閉塞感、身体機能の低下などの訴えを多く聞くようになりました。人同士が直接顔を合わせてコミュニケーションを図ることの大切さをコロナ禍で再確認することになりました。一方、コロナ禍の影響は社協全体に大きく、厳しい経営となりました。

しかしながら、ウイズコロナの考え方をもとに、第4次地域福祉活動計画の基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現を目指し、市民の皆様が安心して事業に参加できるよう考えながら、様々な事業に取り組みました。

法人運営事業では、今後の社協の財政基盤強化に向けた経営・組織体制について、理事をはじめ経理や福祉の有識者をメンバーとした経営検討委員会を開催し、社協が抱える様々な課題を検討いただき答申を受けました。

地域福祉事業では、地域の福祉活動が停滞しないよう、生活支援体制整備事業（協議体）、防災事業、ボランティア支援、育成など、住民主体の地域づくりに取り組みました。協議体については、小学校区より更に小さい自治会圏域での活動が活発化してきています。また、担当教諭と相談を重ねながら小、中学生へのふくし教育を行い、未来を担う子供達のふくしの心の醸成に力を入れました。

ふくし相談支援センターでは、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）が身近な相談窓口となり、制度の狭間で生きづらさを抱える方や世帯へ寄り添い、個別の相談支援はもとよりインフォーマルの視点から個別課題や地域課題を、協議体等を通して地域住民に伝え、支えあいの地域づくりについて地域全体で考えられるような働きかけができることを目指しました。

成年後見センター事業では、市民後見人養成講座を修了した方を対象に、市民後見人受任までの活動として生活支援員等の活動への参加を勧めました。

また、成年後見制度についての理解を深めるため、協議体などへの出張講座や市民後見人の紹介など周知活動にも取り組んできました。

介護、障害福祉サービス事業は、感染防止対策の徹底を図り、社協の理念をふまえ利用者に寄り添った支援を行いました。

居宅介護支援事業は、主任介護支援専門員を3名配置し、困難ケースやインフォーマルな支援にも継続的に力を注いできました。

訪問介護事業は、利用者への支援方法を話し合う機会を増やし、支援に必要な研修を企画して、特定事業所を維持することが出来ました。

デイサービスゆうかり、デイサービスセンターわかくさ、しゃきよんの家下町の各デイサービスは、一人ひとりがこれまで以上に感染防止対策につとめ、

利用者が安心して通えるデイサービスとして、それぞれの特色を生かした在宅生活の支援や、地域貢献につながる支援を積極的に行ってきましたが、コロナウイルスの影響等による休業や利用を控える方もありました。

北部地域包括支援センターは、社協の強みである地域住民や各関係機関との連携を更に強化し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、令和4年度から5年間の受託契約を市と新たに締結しました。平成31年の受託以降、社協が行う事業や協議体等と連携を図りながら、個別課題から地域課題へと展開できるよう業務に取り組み、高齢者の身近な相談場所として定着してきました。

I 法人運営事業

1 法人運営事業

- ① 正副会長会議の開催
会長、副会長、局長、課長、所長による全体会議
(理事会、評議員会の対応含) 14回

② 理事会・評議員会の開催

理事会	第1回	令和3年度事業報告、決算 他	5月30日
	第2回	資金収支第二次補正予算 他	12月13日
	第3回	令和5年度事業計画、当初予算 他	3月10日
評議員会	第1回	令和3年度事業報告、決算他	6月14日
	第2回	資金収支第二次補正予算について他	12月21日
	第3回	令和5年度事業計画、当初予算 他	3月20日

- ③ 評議員選任・解任委員会の開催 3回

- ④ 監事による監査 1回

- ⑤ 所属長会議
局長、課長、所長による会議 12回

- ⑥ 労務人事管理
社会保険労務士への相談 3回

- ⑦ 法人会計
会計事務所による月締め状況、年度決算の監査 13回

- ⑧ 衛生委員会開催 12回
ストレスチェック実施(1回) 12月実施

- ⑨ 市議会議員への説明会 コロナ禍の為開催無し

- ⑩ 視察研修実施・受入れ 受け入れ無し

- ⑪ 社会福祉法人等との連携のための地域連絡会
正副委員長会議 1回

- ⑫ 経営検討委員会の開催 4回

- ⑬ 役員の選任検討委員会の開催 1回

2 苦情解決体制

社協が行う事業に係る市民や利用者等からの苦情を解決するための体制を備え、対応しました。

- ・苦情解決第三者委員会 5月6日
- ・令和4年度(苦情・事故・ヒヤリハット報告)

苦情	事故(車両事故含む)	ヒヤリハット	合計
2	31	0	33

令和4年度 苦情一覧(概要)

担当課	内容	対応・解決結果等
デイサービス ゆうかり	10/6朝、利用者Aさん宅に迎えに行った職員B及び運転手Cが玄関の段差にスロープをかける事を忘れたまま車椅子を操作してしまい、Aさんに強い衝撃を与えてしまった。また、同日の帰りの送り時に、Aさんの夫Dさんから今朝の車いすの操作により玄関の床に傷がついたと言われた。	<p>衝撃を与えてしまった後にAさんに怪我がないことと床の状態の確認を行い謝罪。その時点では床に傷は確認できず、Dさんからは「今後は気をつけるように」との言葉があった。帰りにAさんを送った時に、Dさんが「床に傷がついた」と憤慨。床の傷を確認しようとしたが見せてもらえず再度謝罪。帰所後に職員内で情報を共有し、所長が電話で改めて謝罪をする。電話でも憤慨しており「初歩的なミス」「たるんでいる」との言葉がある。Aさんが事故後初めて利用する日に、所長が同行し直接Dさんに謝罪し環境と手順の再確認を行った。</p> <p>今後の対応として、Aさんの送迎の手順の再確認をし、送迎担当職員2名の役割分担を明確にする。自身の介護技術を過信することなく、利用者や家族の意向に沿った手順で実施する。</p>
地域福祉課	<p>ボランティア情報誌に掲載されていた記事を見て、参加しようと電話をした。電話に出た男性に最初から強い口調で対応され、車を持っていないのでどうしたらよいか尋ねたところ、かぶせるように「車がなければできない」と言われ、何か言う間もなく電話を切られてしまった。</p> <p>電話に出た男性の態度を不快に感じたので、団体の代表者に伝えて欲しい。車がなければ参加出来ないのであれば記事に記載するべきではないかと思い、発行元である社協に電話した。</p>	<p>不快な思いをさせたことを謝罪する。苦情の内容を、社協から団体代表者に伝えることで了承を受ける。</p> <p>後日、記事を掲載した団体の代表へ電話し、申出人から社協に電話があった経過と気持ちを伝える。代表からは「電話をくれた方に申し訳なかった。各小学校等に収集に回るので車がないと協力が難しい地区もあり、車を所有しているボランティアが増えて欲しいという想いもあった。しかし、車がなくてもできることはあるので、伝えられればよかった。」との返事がある。</p> <p>今後この団体のボランティア募集の記事を掲載する時は「車があれば助かります」など一文添えるよう配慮する。</p>

3 会員の確保

自主性を持った社協活動の拡充、地域福祉活動のより一層の充実を図るため、自治会の協力のもと一般会員への加入を促進し自主財源の確保に努めました。賛助会員の拡大を図るため企業訪問を計画しましたが、コロナ禍のため小規模での展開となりました。

- ①一般会員（南アルプス市民、市内の社会福祉事業を営む企業・団体等、市内の福祉活動を行う団体等）の加入及び協力促進
- ②賛助会員（社協の趣旨に賛同する個人・法人・企業・団体等）の加入促進

一般会費（自治会）

地 区	実世帯（戸）	自治会加入世帯	会 員 戸 数	金 額（円）
八 田	2,980	1,911	1,630	1,629,500
白 根	8,009	5,525	4,811	4,786,000
芦 安	119	118	90	90,000
若 草	5,235	3,083	2,457	2,458,000
櫛 形	7,525	5,829	4,528	4,526,000
甲 西	5,165	3,533	3,001	2,997,000
合 計	29,033	19,999	16,517	16,486,500

一般会費（社会福祉事業を行う個人、団体から）納入状況

区 分	会員数	金 額（円）
個人	86 人	192,000
団体	21 団体	165,000
合 計		357,000

賛助会費納入状況

区 分	会員数	口数	金 額（円）
個人	0 人	0 口	0
団体	24 団体	33 口	159,000
合 計			159,000

4 広報活動

地域の社会福祉活動や社協の事業を深く理解してもらうために必要な情報を広く住民に伝え、福祉の啓発を図りました。

- ① ボランティア情報誌の発行
毎月1日発行 配布数（1回につき）19,650部
- ② 社協だよりの発行
年2回（7月17日・2月26日）
配布数（1回につき）19,400部
- ③ ホームページによる情報発信
アクセス数 5,992
- ④ フェイスブックによる情報発信
掲載記事 198 いいね数 3,738

- ⑤ マスコットキャラクターしゃきよんの活用
 - ・社協だより vol. 38 夏期号取材時着ぐるみ活用
 - ・社協だより vol. 39 冬期号取材時着ぐるみ活用
 - ・福祉バスにマスコットラッピング
 - ・デイサービスももそのマルシェにて着ぐるみ活用
 - ・他、車両ステッカー、広報、事業等日常業務にて活用

5 役職員研修の実施

※役員の研修は、新型コロナウイルスの影響により開催無し
職員の研修は、VI職員の質の向上（職員研修）を参照

6 施設の管理

管理者として適切な管理運営とサービスの向上に努めました。

施設名	利用人数（通所E除く）
① 白根げんき館（指定管理）	2,445名
② 甲西保健福祉センター（指定管理）	4,152名
③ 旧若草健康センター	2,364名

7 社協発展強化計画の策定

地域福祉活動計画と連動した職員行動計画を策定、推進します。

発展強化チーム会議	次回策定に向け検討中
-----------	------------

II 地域福祉推進事業

「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現に向けて、地域の誰もが暮らしやすい地域づくりを進めました。

1 地域福祉活動への支援

ボランティア活動や地域福祉活動が活発に行われるよう支援しました。

- ① ボランティア団体助成事業
社協が活動費を助成しているボランティア団体 33団体
- ② ボランティア交流会開催（ボランティア交流会準備委員会主催）
令和4年10月15日（土） 45名参加
- ③ ボランティア相談窓口 延べ 28回
- ④ 当事者の会等の活動 実施無し

⑤ ふれあい・いきいきサロン活動 申請 62 団体

種 別	開催箇所数
高齢者サロン	30 団体
子育てサロン	1 団体
障害者サロン	1 団体
その他サロン (全般)	30 団体

研修会の開催 全 2 回 7 月 21 日、令和 5 年 3 月 1 日

⑥ 小地域福祉活動 (ふれあい広場)

実施地区	予定自治会数	実施自治会数	備 考
甲西地区	9 か所	9 か所	

⑦ 地域交流拠点「しゃきよんの家下町」

来場者数

種 別	延人数 (団体数)	備 考
視察団体	1 団体	ボランティアポイント (14 名)
昼食提供者	1 名	年間延べ 14 食 (囲碁クラブ)
来所者数	152 名	
学生実習受け入れ	1 名	社会福祉士実習

拠点貸出

内 容	貸出回数	備 考
囲碁クラブ	21 回	延べ 89 名参加

学習会・体験・講演会 (デイ利用者含まず)

事 業 名	開催回数	延参加人数	備 考
映画鑑賞	7 回	2 名	
ゆる体操・体操教室 等	10 回	3 名	
音楽関係講座	19 回	4 名	
教養講座	2 回	0 名	

地域との連携

会 議 名	開催日	参加者数	備 考
運営推進会議	10 月、3 月	8 名	

⑧ 生活支援体制整備協議体 (第 2 層・第 3 層への支援)

生活支援体制整備協議体開催

延べ回数 115 回 延べ参加人数 1,587 名

地 区	開 催 日
八田地区	4 月 28 日、5 月 27 日、6 月 23 日、9 月 22 日 10 月 27 日、 11 月 24 日、1 月 27 日、2 月 24 日、3 月 24 日
白根東地区	5 月 16 日、7 月 13 日、9 月 28 日、11 月 30 日、1 月 25 日 3 月 29 日

白根源地区	5月23日、6月21日、8月31日（代表者）、10月17日、11月16日、12月5日（代表者）、1月17日、3月22日
白根百田地区	6月20日
白根飯野地区	4月22日、6月24日、8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月16日、2月24日、3月24日
白根飯丘地区	4月27日、5月25日、6月22日、7月13日、10月12日、11月9日、12月24日、1月25日、2月8日、3月22日
芦安地区	7月13日、8月25日、9月21日、10月14日、11月17日、12月14日、2月9日、3月1日
若草北地区	4月22日、5月12日、7月21日、9月15日、11月18日、1月12日、2月16日、3月9日
若草南地区	5月26日、8月18日、11月17日、2月16日
楡形西地区	4月26日、6月28日、10月4日、12月8日、2月7日
楡形北地区	5月24日、8月26日、9月13日、10月7日、11月25日、12月23日、1月27日、2月24日、3月29日
楡形小笠原	7月22日、8月25日、9月15日、2月20日
楡形豊地区	5月24日、9月15日、11月24日、2月9日、3月23日
甲西大明地区	4月21日、5月19日、6月16日、8月19日、9月29日、10月20日、11月22日、12月25日、1月18日、2月16日、3月17日
甲西南湖地区	4月21日、6月23日、8月17日、10月19日、12月14日、2月14日
甲西落合地区	4月26日、5月16日、6月20日、8月5日、8月29日、9月29日、10月24日、11月14日、12月19日、1月23日、2月21日、3月20日

- ・福祉団体や地域福祉活動への助成 12 団体
- ・担い手養成講座（地域福祉参加セミナー）
11月1日（火） 桃源文化会館 63名
- ・支えあいディスカッション2022 ～専門職と協議体との合同研修会～
12月20日（火） 桃源文化会館 94名参加
- ・協議体活動スキルアップ勉強会
2月24日（金） 桃源文化会館 101名参加
- ・第2層協議体代表・副代表意見交換会（7月7日、3月8日）
- ・情報発信
生活支援コーディネーター発信 ゆるつな物語（Facebook） 12回発信
商工会アルピー通信6回掲載
ボランティア情報誌「私たちの協議体」12回掲載
- ・第2層生活支援コーディネーター外部講師等
北海道生活支援コーディネーター養成研修講師（7月27日）
山梨生活支援コーディネーター養成・スキルアップ勉強会講師（9月12日）
笛吹市御坂協議体 話し合い講師（9月13日）
生きがい・助け合いサミット in 東京 職員（第2層SC発表）（9月1日、2日）

小菅村ドローン買い物手段視察研修（10月14日）
 静岡県富士宮市視察 2層SC対応（11月29日）
 山形県長井市視察 2層SC・事務局対応（12月6日）
 市主催支えあいの地域づくり実感フォーラム協力（1月15日）
 令和4年度山梨県生活支援体制整備アドバイザー支援事業報告会にて2層SC発表（2月27日）

⑨ 自治会が行う買い物支援における車輛貸出事業

貸出回数	11回	加賀美区自治会
------	-----	---------

⑩ 福祉バスの運行

	運行回数（温泉）	乗車人数（温泉）
楡形福祉バス	112（101）	249（136）
若草福祉バス	105（76）	408（38）
計	217（177）	657（174）

2 高齢者の生きがいづくりへの支援

高齢者が生きがいを持っていきいきと過ごせるよう支援しました。

① 介護支援ボランティア・ポイント制度事業

登録者数	193名	延べ活動回数	617回
活動受入施設	49か所	内在宅活動回数	178回
ポイント活用申請者数	27名	合計ポイント数	790ポイント
養成研修等開催日・参加者数	新規養成講座 8月17日（7名） 2月20日（10名） 出張養成講座 9月22日 百々元気クラブ（12名） 2月8日 飯野新田生活支援隊（7名） 3月27日 あったかカフェ（6名） フォローアップ研修 9月7日（14名）		

② 通所型サービスE事業（介護認定を受けていない65歳以上の方）

	実人数	回数	延べ人数	備考
八田地区	14	90	573	1カ所
白根地区	20	143	753	1カ所
芦安地区	5	47	166	1カ所
若草地区	15	141	572	4カ所
甲西地区	21	143	848	1カ所
計	75	564	2,912	8カ所

③ 単位老人クラブの活性化

単位クラブ活動活性化推進委員会（各支所会長 6 名）4 回開催

3 在宅福祉活動の推進

住み慣れた自宅での生活が安心して送れるよう支援しました。

① ふくし生活支援サービス事業

サポーター数	76 名
--------	------

② おやつサービス事業

実施回数	42 回
------	------

③ 食の自立支援事業

実人数	60 名	延べ配食数	13,187 食
-----	------	-------	----------

④ 通院サービス事業（本所・芦安）

	登録者数	延べ利用回数
本所通院サービス	61 名	454 名
芦安通院サービス	20 名	103 名

⑤ 車いす・福祉車輛の貸し出し事業

車椅子	76 回	福祉車輛	延べ 184 回
-----	------	------	----------

⑥ 介護保険外ホームヘルプサービス

実施回数	25 回
------	------

⑦ 制度外入浴サービス事業

実施回数	11 回
------	------

4 福祉の意識啓発

子供から高齢者までそれぞれの状況に合わせて、福祉への関心が高まるよう啓発を行いました。

① 社会福祉大会の開催

日 時：令和 5 年 1 月 29 日（日）13 時 30 分～16 時

会 場：楡形生涯学習センター あやめホール

内 容：第一部式典 表彰

第二部講演 きらめき久美ファーム 山田久美子氏

参加者：170 名

② ボランティアスクール開催

実施回数	1回	参加者数	11名
------	----	------	-----

③ ふくしポスター募集

応募数 894点
 審査結果 最優秀賞 1点 優秀賞 3点 佳作 8点

④ 学校でのふくし教育

実施校	10校	延べ時間数(コマ)	52コマ
		延べ参加児童・生徒数	2,725名

⑤ ふくし勉強会

ふくし勉強会	1回	参加者数	34名
出張ふくし勉強会	6回	延べ参加者数	116名

⑥ 企業向けの研修会

実施回数	0回	延べ参加者数	0名
------	----	--------	----

⑦ 専門職向け研修

専門職向け研修	1回	延べ参加者数	18名
住民向け (各種団体研修会時)	1回	延べ参加者数	8名

⑧ 成年後見制度等啓発セミナー

実施回数	1回	参加者数	10名
------	----	------	-----

5 防災・減災啓発活動

防災をキーワードに地域づくりを進めるとともに、災害支援活動を行いました。

① 災害ボランティアセンター設置運営訓練

実施回数	1回	参加者数	64名
------	----	------	-----

② 福祉避難所開設訓練 実施無し

③ 防災地域出前講座(自治会、各種団体、サロン等)

実施回数	14回	延べ参加者数	336名
------	-----	--------	------

④ 防災福祉教育 実施無し

⑤ 企業応援

実施回数	1回	参加者数	11企業掲載
------	----	------	--------

⑥ 被災地への職員・ボランティアの派遣

台風15号による災害ボランティアセンター運営支援（静岡市）

実施回数	2回	参加者数	2名
------	----	------	----

⑦ 防災学習会

実施回数	1回	参加者数	37名
------	----	------	-----

⑧ 被災地支援ボランティアバスの運行 実施無し

6 相談支援

1) 生活課題への相談支援

生活上の様々な相談にのり、解決に向け支援を行いました。

① コミュニティソーシャルワーカー配置事業

相談支援方法	延件数	連携機関	延件数
自宅訪問	897	本人	3,336
来所相談	491	同居家族	342
同行支援	149	別居家族	401
電話相談(連絡調整)	2,883	地域住民・知人	437
電子メール	139	民生委員	609
個別支援会議	282	店・企業	235
関係機関との連絡調整	4,999	医療機関	150
その他	69	警察・保健所	101
合計	9,909	地域包括支援センター	401
		北部地域包括支援センター	545
		市 介護福祉課	16
年代別相談支援者数	実人数	市 こども家庭相談課	113
15歳未満	1	市 健康増進課	78
15～29歳	35	市 福祉総合相談課(生保)	162
30～39歳	59	市 福祉総合相談課(自立)	519
40～49歳	78	その他市役所各部署	76
50～59歳	95	障害者相談支援センター	305
60～64歳	35	障害者計画相談	254
65歳以上	214	社会福祉協議会	1,270
年齢不明	3	ケアマネジャー	420
合計	520	その他	139
		合計	9,909

② 出張ふくし相談会

月 2 回（第 1、第 3 水曜日）開催 相談来所者数 15 名

開催日	開催場所	来所者数	開催日	開催場所	来所者数
4/13	楡形社会福祉会館	0	4/27	甲西保健福祉センター	0
5/11	六科集落センター	0	5/26	百々公民館	0
6/8	芦安窓口 S C	0	6/22	鏡中條公民館	1
7/13	はたらく婦人の家	1	7/27	下宮地公民館	0
8/10	徳永集落センター	0	8/24	築山宮農センター老人憩いの家	2
9/14	芦安窓口 S C	0	9/28	浅原集落センター	5
10/12	楡形西地区農村改善センター	1	10/26	東南湖公民館	1
11/9	上高砂集落センター	0	11/22	南原団地集会所	1
12/14	芦安窓口 S C	0	12/28	加賀美公民館	0
1/11	ウェルシア薬局	0	1/25	大師公民館	1
2/8	野牛島集落センター	0	2/22	白根生涯学習センター	0
3/8	芦安窓口 S C	0	3/22	寺部公民館	2

③ 生活福祉資金貸付事業・生活福祉資金利子補給事業

生活福祉資金申請状況

(特例貸付)

緊急小口資金	40 件	7,800,000 円
総合支援資金	32 件	17,250,000 円

(通常貸付)

緊急小口資金	5 件	500,000 円
生活福祉資金利子補給事業		0 件
居室整備資金利子補給事業		0 件

④ 社会福祉金庫貸付事業

新規貸付	0 件	0 円
R4 年度返済者数	5 名	償還額合計 42,000 円
償還完了	1 件	
徴収不能処理	0 件	
貸付残額	27 件	1,841,595 円

⑤ ステップワン事業

定期開催	12回	延べ参加者数	46名
個別開催	16回	延べ参加者数	19名

内容：不登校、ひきこもり、精神疾患など社会との関わりをなかなか持つことができない方を対象に、ゲーム、卓球、レジン作りなどを行い、社会とつながりをもつきっかけとしました。

⑥ 困窮者支援事業

(準要保護世帯児童への学用品等支援、社会的困窮者支援)

対象児童数	50名
-------	-----

2) 権利擁護に関する相談支援

自己の権利を表明することが困難な方の権利を護り支援しました。

① 法人後見事業

法人後見関係受任件数

新規受任件数	1件	後見1 保佐0 補助0
終了件数	5件	後見3 保佐0 補助2
受任件数(3月末日)	12件	後見6 保佐5 補助1
延べ相談支援回数	1,073回	担当者会議含む

② 成年後見制度相談会開催

相談会開催数 12回 相談件数 5件

成年後見センター相談受付状況

新規相談件数	48件	
延べ相談支援回数	300回	担当者会議含む

③ 権利擁護啓発活動

内 容 (対象者)	日 程	場 所・主催者等
日常生活自立支援事業について (計画相談員)	8月18日 (木)	オンライン・計画相談連絡会と共催
市民セミナー エンディングノートに触れてみよう!! (市民)	8月26日 (金)	社会福祉協議会本所
市民のための成年後見制度勉強会 (市民)	10月7日 (金)	わかくさ生涯学習センター・権利擁護センターと共催
魅力発信! 市民後見人の活動を知ろう (市民)	10月11日 (月)	社会福祉協議会本所

④ 日常生活自立支援事業
(福祉サービス利用援助事業・受託事業 (県社協))

新規契約件数	14 件	認知症 2 知的障害 7 精神障害 5
終了件数	11 件	認知症 5 知的障害 3 精神障害 2 その他 1
契約件数(3 月末日)	75 件	認知症 13 知的障害 26 精神障害 31 その他 5
延べ相談支援回数	6, 731 回	担当者会議含む

⑤ 成年後見センター運営委員会

委員会名	日 程	備 考
成年後見センター 運営委員会	7 月 25 日 (月)	R4 年度事業計画、事業経過報告等
	3 月 15 日 (水)	R4 年度事業経過報告、R5 事業計画 等

7 地域福祉活動計画の評価推進

第 4 次地域福祉活動計画 (令和 2 年度～令和 6 年度) が着実に遂行で
きるよう評価を行いました。

第 4 次地域福祉活動計画の評価

	日 程
職員向け勉強会	5 月 11 日、11 月 26 日
評価委員会	7 月 13 日、10 月 21 日、3 月 16 日
評価推進チーム会議	4 月 27 日、6 月 13 日、7 月 8 日、7 月 25 日、8 月 10 日、8 月 17 日、9 月 16 日、10 月 5 日、12 月 16 日、2 月 16 日

8 福祉人材の養成及び育成

様々な福祉の分野で活躍できる人材の養成や育成を行いました。

① ボランティア育成支援事業

開催日 回数等	事業名	延べ参加者数
毎月 1 回(第 3 水)	男性ボランティア定例会	各回 3～4 名
毎月 1 回(第 2 火)	女性ボランティア定例会	各回 1～7 名
毎月 1 回(第 3 木)	話し相手ボランティア定例会	各回 3～4 名
ごみ拾い 6 回 花植え 1 回	花植えごみ拾いボランティア活動	23 名

② 市民後見人等養成事業（市受託事業）

内 容	日 程	備 考
市民後見人養成講座	11月5、12、18、26日	10名参加 修了者のうち市民後見人を 目指す8名が4月からの実 践研修に参加
フォローアップ研修	7月29日（金）	市民後見人養成講座修了者 が対象
	9月2日（金）	
	3月17日（金）	

市民生活支援員 6名 市民後見人 2名（1名受任予定 3名推薦準備中）

③ 実習生の受入れ

- ・ソーシャルワーク実務研修（社会福祉士）
 - 8月10日～9月26日 1名（山梨県立大学3年生）
 - 1月16日～2月16日 1名（健康科学大学3年生）
 - 2月13日～2月28日 1名（健康科学大学2年生）
- ・介護福祉士養成学校の介護実習
 - 9月12日～9月15日 3名
- ・介護支援専門員実務研修
 - 1月～2月 1名につき3日間 3名

Ⅲ 介護保険事業

介護保険制度による介護事業を、高齢者等が要介護状態になっても住み慣れた地域でいきいきと生活が送れるよう良質なサービス提供を目指し運営してきました。令和4年度は制度の運営基準に沿い「感染症の予防及びまん延の防止のための指針」「高齢者虐待・障害者虐待防止のための指針」「身体拘束等の適正化のための指針」を作成し、それに係る委員会を立ち上げて、利用者の健康や尊厳を守る取り組みの具体化を図ってまいりました。

1 居宅介護支援事業

介護認定を受けている利用者の個々の状況に合わせて、利用者主体の居宅介護計画（ケアプラン）作成に取り組んできました。特に支援困難な状況や複雑な背景に置かれている方には、地域の支援者との話し合いや地域資源をケアプランに取り込み、多職種とともに利用者の生活を支えるチーム作りを目指してきました。また主任介護支援専門員を3名配置し5名の体制で、特定事業所を維持して運営することができました。

新規依頼の相談（年間の実人数） 68件 うち支援開始 30件
カンファレンス・担当者会議 197回

① 介護保険

要介護度	年間利用者数 (月利用者数の年合計)	月平均件数 小数点以下四捨五入
要介護 1	505	42
要介護 2	618	52
要介護 3	336	28
要介護 4	171	14
要介護 5	29	2
合 計	1,659	138

中重度者(要介護 3～5)の割合は全体の 32%となっている。

② 介護予防

要介護度	年間利用者数 (月利用者数の年合計)	月平均件数 小数点以下四捨五入
要支援 1	40	3
要支援 2	90	8
合 計	130	11

2 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業・訪問型サービスA 事業

要支援、要介護認定を受けている利用者、または総合事業対象者の居宅にホームヘルパーや支援員が訪問し、地域で自立した生活が続けられるよう身体介護や生活支援などのサービス提供を行いました。令和4年度は、利用者への支援方法を話し合う機会を増やし、支援に必要な研修を企画して、特定事業所を維持することが出来ました。利用者の生活の一番身近なところで支援を行う介護サービス事業であり、日常の支援の中でキャッチした個々の課題や地域課題については解決に向けて発信し、多様なサービスや地域の資源につなげるように努めました。

① 介護保険事業(訪問介護・総合事業訪問型サービス・訪問A)

サービス提供日数	月間利用者数の合計(年)
365 日	1,201 人
内訳	
訪問介護	820 人 (月間利用者数の合計)
総合事業訪問型	162 人 (")
訪問型A	219 人 (")

3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業・通所型サービスA 事業

コロナ禍の影響も強く介護事業が厳しい状況の中、それぞれの特徴を生かしながら社会福祉協議会のデイサービスが目指す利用者一人ひとりに寄り添った介護を大切に、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう幅広いサービスの展開を行いました。

事業所	介護3		介護4		介護5		合計(延べ利用回数)
	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	
デイゆうかり	8.0	1,001	5.1	706	2.1	324	5,809
デイわかくさ	5.3	694	5.8	542	2.5	149	3,764
しゃきよんの 家下町	2.8	316	1.0	114	0	0	1,522
合計	16.1	2,011	11.9	1,362	4.6	473	11,095

③ ボランティア協力状況

事業所	定期的なボランティア数	訪問ボランティア団体数	訪問ボランティア回数
デイゆうかり	延べ100人	6	30
デイわかくさ	延べ152人	9	38
しゃきよんの家下町	延べ91人	2団体他個人	19

4 北部地域包括支援センター事業(受託事業)

地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援してきました。

① 総合相談支援業務・権利擁護業務(令和4年度)

支援実件数 718件 対応のべ件数 7,307件

相談者別(のべ件数)		受付分類別(のべ件数)	
本人	1,250	保健・医療	816
家族・親族	1,598	認知症関係	713
地域住民・知人	131	精神疾患	428
民生委員	135	介護保険	2,771
ケアマネジャー	1,372	住宅改修	29
サービス事業者	204	福祉用具	57
医療機関	602	施設入所	141
市内行政機関等	900	総合事業・介護予防事業	112
市外行政機関等	58	在宅福祉サービス	120
地域包括支援センター	215	障害福祉に関すること	32
社会福祉協議会	357	介護一般の相談	88
障害福祉関係機関	96	日常生活相談	699
障害者相談支援センター	64	情緒的支援	33
警察	44	家族間の問題	197
消防	0	近隣との問題	11
成年後見人	2	生活保護・生活困窮	95

成年後見センター			3	虐待関係（高齢者）	354
その他			276	虐待関係（障害者）	0
空白			0	成年後見制度	55
合計			7,307	日常生活自立支援事業	7
相談方法（のべ件数）	新規	継続	合計	消費者被害	17
電話	99	2,595	2,694	DV相談	0
訪問	15	795	810	苦情	8
来所	161	272	433	見守り相談（情報提供）	45
連絡調整	87	2,982	3,069	実態把握（サービス未利用者）	24
個別支援会議	0	1	1	実態把握（介護予防把握事業）	10
メール・文書	5	45	50	実態把握（安否確認）	31
その他	1	249	250	介護離職	0
合計	368	6,939	7,307	その他	17
				合計	6,910

地区・年代別集計																	
	40代		50代		60代		70代		80代		90代		100代		不明		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
八田	2	10	0	0	49	117	162	198	194	671	71	162	0	0	0	0	1,636
白根	17	32	154	18	400	216	724	829	899	1,553	178	388	0	0	0	0	5,408
芦安	0	0	0	0	0	0	6	22	11	103	19	9	0	7	0	0	177
市外	0	2	0	0	0	0	0	0	62	6	0	3	0	0	0	0	73
市内	0	0	0	0	0	0	4	3	3	1	0	0	0	0	0	0	11
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	19	44	154	18	449	333	896	1,052	1,169	2,334	268	562	0	7	0	2	7,307

② 包括的・継続的ケアマネジメント業務

介護支援専門員への相談支援

		ケアマネ支援（医療機関等への同行）	2
ケアマネ支援（相談・助言）	226	ケアマネ支援（担当者会議参加）	52
ケアマネ支援（サービス調整）	26	ケアマネ支援（会議開催支援）	0
ケアマネ支援（関係機関調整）	30	ケアマネ支援（その他）	47
ケアマネ支援（同行支援）	14	合計	397

新規介護予防プラン プランチェック実施件数 7件

③ 北部指定介護予防支援事業

ケアプラン作成件数

第1号介護予防支援事業 直営 297件 委託 240件

指定介護予防支援事業 直営 350件 委託 495件

IV 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法による障害福祉サービス事業所として、関係機関と連携し、利用者がその人らしい自立した在宅生活を送れることを目的に、身体介護や家事支援、外出時の介護などのサービス提供を行いました。介護保険サービスと同様に令和4年度は制度の運営基準に沿い「感染症の予防及びまん延の防止のための指針」「高齢者虐待・障害者虐待防止のための指針」「身体拘束等の適正化のための指針」を作成し、それに係る委員会を立ち上げて、利用者の健康や尊厳を守る取り組みの具体化を図ってきました。

① 障害者総合支援事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

サービス提供日数	月間利用者数の合計(年)
365日	594人

内訳 居宅介護 485人

重度訪問介護 12人

同行援護 97人

② 障害者移動支援事業（委託事業） 利用者数は月間利用者数の合計(年)

ヘルパー支援型 利用者数	148名	年間	434回
車両型 利用者数（登録者19名）	142名	年間	311回

③ 養育支援訪問事業（委託事業）

利用件数	2名	派遣回数	16回
------	----	------	-----

④ 生活介護（基準該当障害福祉サービス）

	平均登録者数	利用回数
デイサービスゆうかり	1名	98回
デイサービスセンターわかくさ	4.9名	522回

V その他

- ① 各種団体、各保健・福祉施設等との連携
社会福祉法人等との地域連絡会の開催
- ② 南アルプス市老人クラブ連合会及び各支所老人クラブ連合会事務局
- ③ 山梨県共同募金会南アルプス市支会の運営

VI 職員の質の向上（職員研修）

研修日	内容	講師	参加者
6月24日	決算分析報告	ラッセルズ株式会社	41名
8月31日	JAF交通安全座学講習会	JAF山梨支部	25名
9月29日、 10月5日	成年後見制度活用ハンドブック学習会	成年後見センター	39名
1月17日	メンタルヘルスセミナー	山梨県厚生連健康管理センター	38名
10月13日、 19日、20日	事例検討会	職員	42名
3月3日	経営検討委員会答申内容職員説明会	南アルプス市社会福祉協議会（事務局長）	37名

総務課

研修日	内容	主催者	参加者
10月31日～ 11月2日	社会福祉法人会計実務講座	中央福祉学院	1名
9月3日、4日	社会福祉士実習指導者講習会	山梨県社会福祉士会	3名
1月19日	やまなし福祉救援活動推進員研修	山梨県社会福祉協議会	2名
2月7日	令和4年度災害ボランティアセンター運営研修	山梨県社会福祉協議会	2名
3月17日	決算法人説明会・インボイス制度説明会	甲府税務署	2名

地域福祉課（外部研修）

研 修 日	内 容	主催者	参加者
4月6日	発達障害への理解を深める セミナー	山梨県、山梨県教育委員 会他2団体	4名
5月24日 5月31日	豪雨災害と防災について考 える	甲府气象台	1名
5月24日	「ちょっと困った」時のサ ポートを考えよう(動画視 聴)	一般社団法人 publichouse モモ	5名
5月28日	新社会福祉士養成カリキュ ラム説明会	山梨県立大学、健康科学 大学、身延山大学	2名
6月23日	南アルプス市ひきこもり支 援のための市民講座	市福祉総合相談課	4名
7月7、8日	第58回関東ブロック郡市町 村社協職員 合同研究協議会	関東ブロック郡市町村社 会福祉協議会	4名
7月9日	第4回全国地域包括ケアシ ステム連絡会学習交流会	全国地域包括ケアシステ ム連絡会	1名
7月29、30日	ひきこもり地域支援センタ ー職員等への人材養成研修 (初任者研修)1日目	厚生労働省	5名
7月30日	南アルプス市重層的支援体 制整備事業に関する職員研 修Ⅱ	市福祉総合相談課	3名
8月27日 1月28日	社会福祉士基礎研修Ⅰ	山梨県社会福祉士会	3名
9月1、2日	生きがい・助け合いサミッ ト in 東京	さわやか福祉財団(オンライ ン)	12名
9月16日	権利擁護・差別解消講演会	市障がい福祉課	2名
9月20日	重層的支援体制整備事業勉 強会 vol13	福祉総合相談課	5名
9月28日	重層的支援体制整備事業座 談会	山梨県福祉保健部	4名
10月19日 11月22日	令和4年度ボランティア担 当職員研修会	山梨県社会福祉協議会	1名
10月28日	重層、他機関協働事業研修	自立相談支援機関	5名
11月19日	ボランティア全国フォーラ ム2023	全国社会福祉協議会	1名
11月19日	B@SE ラボ研修(これからの 若者支援とは)	福祉総合相談課	2名

11月21日	ひきこもり地域支援者研修 会議及び社会適応訓練事業 研修会	山梨県立精神保健福祉セ ンター	5名
11月25日	重層的支援体制整備事業に 関する研修会V	自立相談支援機関	3名
11月26日	児童虐待防止市民講座	こども家庭相談課	4名
12月13日	社協における重層的支援体 制整備事業の取り組み	全社協	5名
12月13日	地域支え合い活動推進セミ ナー	山梨県	1名
12月17日	コロナ禍における地域の生 活課題と孤立しない・させ ない実践の在り方を探る	日本地域福祉研究所	4名
12月20日 ～3月7日	山梨県介護支援専門員 再・更新研修	山梨県介護支援専門員協 会	1名
12月23日	生活困窮者自立支援事業情 報交換会	県社協	2名
12月23日	生活福祉資金特例貸付の借 受人への相談対応に関する 説明会	県社協	3名
1月15日	支えあいの地域づくり実感 フォーラム	市介護福祉課	7名
1月19日	事例に学ぶ 人を大切にす る企業	アシストエンジニアリン グ	5名
1月19日	キャラバン研修	権利擁護部会	1名
2月19日	スクールソーシャルワーク 全国実践研究集会	日本社会福祉士会	3名
2月22日	オープントーキングバー	市福祉総合相談課	2名
3月18日	ささえ愛セミナー	市福祉総合相談課	7名

地域福祉課（内部研修）

研修名	内 容	参加者
地域福祉課内事例検討会	事例検討会(10回)	各11名
地域福祉推進係研修	6月介護保険のしくみについて 8月広報のしかたについて	16名
地域包括支援センター研修	7月地域包括支援センター研修	2名

成年後見センター（外部研修）

研修日	内 容	主催者	参加者
4月6日	発達障害への理解を深めるセミ ナー	山梨県	2名

5月20日 6月3日	えにしアカデミー ・権利擁護支援の現場から ・社会的弱者の権利をどう守るか	滋賀県社会福祉協議会(オンライン)	3名
8月27日、 1月28日	社会福祉士基礎研修 I	山梨県社会福祉士会	2名
9月16日	権利擁護・差別解消講演会	市障害福祉課	4名
10月4日	令和4年度日常生活自立支援事業専門員実践研修	全社協(ライブ配信)	1名
10月14日	成年後見制度市民公開講座	笛吹市社会福祉協議会	4名
10月31日	ケース会議援助プログラムに関する事例説明研修会	法テラス山梨(オンライン)	2名
2月1日、3日、8日、9日、10日	令和4年度厚生労働省委託事業「持続可能な権利擁護支援モデル事業」プレ研修	日本総合研究所(オンライン)	3名
3月2日	K-ねっと 全国セミナー「最後まで自分らしく」を支えていくために～福祉関係者のための任意後見の基礎知識～	全国社会福祉協議会(オンライン)	3名
3月3日	令和4年度権利擁護支援シンポジウム「いま、成年後見人について考える」	リーガルサポート(オンライン)	3名

成年後見センター(内部研修)

研修日	内 容	参加人数
7月29日	エンディングノートから市民後見人・生活支援員活動を考える	17名
9月2日	いきがい・助け合いサミット in 東京 市民後見人による貢献活動と生活支援活動はどう連携するのが望ましいか	19名 リモート
4月28日	ケース記録の書き方	11名
5月27日	統合失調症について	7名
6月27日	各種制度の申告、手続きについて	9名
11月25日	対人援助、意思決定支援について	10名
1月27日	市県民税、国保税等の申告について	10名
2月24日	特殊詐欺について	9名
3月17日	意思決定を考える	16名

居宅支援課

研修名 (主催・項目)	内容 ()は受講人数	受講者数 合計
山梨県	・主任介護支援専門員更新研修(1)	1名
(県・峡中)介護支援専門員協会	・ハラスメント対策(2)・ケアプラン作成(1)、ケアマネジメント関連(5)・地域支部連携大会(2)	10名
外部研修	・感染症対策(1)・介護サービス経営(2)	3名
南アルプス市	・南アルプス市虐待防止権利擁護研修(4)、障害制度(2)、ZOOM会議の方法(5)	11名
課内研修 自主研修	・運営基準・特定事業所要件(5)・保健衛生学習会(感染症対策)(5)・ケアマネジメントプロセス(4)・ハラスメント対策2回(10)・災害時の備え、社協防災マニュアルと事業所BCPの見直し2回(10)・虐待防止(5)・LIFE(4)	43名
事例検討会	・事業所内5回(25)・他事業所合同3回(6) ・市介護支援専門員連絡会1回(5)	36名

訪問介護課

研修名	内 容 ()内は参加人数	参加者数
山梨県	・障害者虐待防止権利擁護研修(1)・難病疾患等ホームヘルパー養成研修(1)	2名
山梨県社協 全社協	・介護職員指導者研修(1)・社協が経営する訪問介護事業所の経営2回(2)	3名
外部	・福祉有償運送運転者講習(2)・カスタマーハラスメント(1)・同行援護一般研修(2)・同行援護応用研修(1)・感染症(5)・ケアプランデータ連携システム(1)	12名
南アルプス市	・虐待防止権利擁護研修(1)・虐待防止従事者向け研修(2)・地域生活拠点(2)	5名
事業所内研修	・サービス提供責任者学習会「集団指導の伝達、運営基準」(6)・ヘルパー倫理とマニュアル(26)・地域福祉活動計画(26)・感染症、食中毒(26)・権利擁護、虐待防止(26)・安全運転講習(26)・特定事業所加算(6)・災害時のヘルパーの動き(26)	168名

デイサービスゆうかり

研修名	内 容	参加者
山梨県社会福祉協議会	関東ブロック老人福祉施設研究会	6名
DS 事業所研修	HUG 研修	8名
外部研修	BCP 作成感染症	1名

デイサービスセンターわかくさ

研修名	内 容	参加者数
山梨県社会福祉協議会	レクリエーション技術 (1名) 自立を促す介助方法 (1名) 介護職場人材育成研修「作業療法」(1名) 介護職員指導者研修(1名)	4名
山梨県福祉プラザ 研修介護職員テーマ別研修	認知症ケアを考える (1名) コミュニケーションの知識と技術 (1名) 記録の書き方 (1名)	3名
南アルプス市	虐待防止・権利擁護研修会	2名

デイサービスしゃきよんの家下町

研修名	内 容	参加者数
山梨県社協研修	自立を促す介助方法	1名
山梨県社協研修	高齢者へのコミュニケーション支援(安全な食事の実現に向けて)	1名
介護実習普及センター	生活支援のコツと認知症の関わり方について	1名
南アルプス市	施設従事者等による虐待防止 I (管理者向け) 虐待防止・権利擁護 (介護職員向け)	1名 1名
介護実習普及センター	「移乗・移乗動作」仕組みと介助の基本	1名
山梨県	コロナ感染症事業所向け研修(オンライン)	1名

北部地域包括支援センター

研修日	内 容	場 所	参加者
4月12日	包括相談受付・予防事業研修	白根げんき館	7名
6月27日	重層的支援体制整備事業に関する研修会	市役所東別館3階大会議室	4名
7月21日、22	認知症地域推進員研修(新任者)	白根げんき館和室(ワラ)	1名

日	研修)	い)	
7月6日～ 8月19日	主任ケアマネ更新研修	白根桃源文化会館	1名
8月10日	高齢者虐待学習会	市役所新館地下会議室	4名
8月17日、18 日	地域包括支援センター職員研 修(新任者研修)	白根げんき館(オンライン)	2名 3名
8月9日～ 8月29日	R4 地域包括支援センター職員 基礎研修	オンデマンド配信	1名
9月3日～4日	社会福祉士実習指導者講習会	白根げんき館(オンライン)	1名
9月20日	重層的支援体制整備事業に関 する職員研修会Ⅲ	市役所東別館3階	2名
10月31日	ケース会議援助プログラム研 修	白根げんき館(オンライン)	3名
10月28日	重層的支援体制整備事業に関 する職員研修会Ⅳ	市役所新館地下第1会 議室	4名
11月5日	認知症初期集中支援チーム員 研修	白根げんき館(オンライン)	2名
11月7日	地域包括によるひきこもり相 談支援研修会	白根げんき館(オンライン)	1名
11月21日	R4 ひきこもり地域支援者研修 会及び精神障害者等社会適応 事業訓練研修会	白根げんき館(オンライン)	1名
11月25日	重層的支援体制整備事業に関 する職員研修会	市役所新館地下第1会 議室	2名
1月12日	ケアマネ連絡会研修	白根げんき館(オンライン)	1名
1月28日	飯野9区認知症サポーター ステップアップ講座(チームオレ ンジ養成講座)	飯野9区公会堂	1名
2月10日	チームオレンジコーディネー ター研修	白根げんき館(オンライン)	1名
2月22日	チームオレンジ推進事業中北 圏域研修	白根げんき館(オンライン)	1名
3月16日	擁護者による虐待と権利擁護 研修	南アルプス市役所・白 根げんき館(オンライン)	4名